



2020年6月の米国レースに  
電気自動車で参戦する



—セルロースナノファイバーの車体外装全体への実装に挑戦—

大王製紙株式会社(住所：東京都千代田区)は、セルロースナノファイバー(以下「CNF」)の事業化に向けた取り組みとして、エクストリームパワースポーツチーム・SAMURAI SPEED(住所：東京都港区)に対してCNFを使用したシート成形体であるELLEX-M<sup>※1</sup>を提供し、車体外装全体への実装に挑戦します。

レースへの参戦は2018年より3ヵ年計画で進められ、CNF部材の実装箇所を着実に増やしてきました。2020年はさらに外装全体への拡大を計画し大幅な軽量化を図ることで、好成績を期待しています。またレース環境での耐久性などを検証し、今後の実用化に向けた取り組みを加速させていきます。

【CNF実装実績、計画】



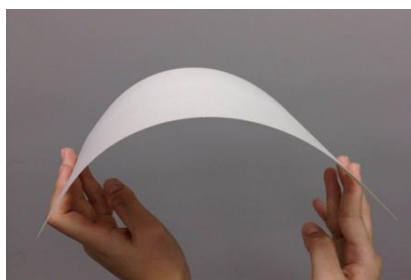
**SAMURAI SPEED** は電気自動車の魅力と将来性を発信するため「パイクスピークEVチャレンジ」と称し、2018年より3ヵ年計画でアメリカ・コロラド州にて開催されるヒルクライムイベント「パイクスピークインターナショナルヒルクライム<sup>※2</sup>」に市販電気自動車にて参戦してきました。

3年目となる今年(2020年6月22日(月)~28日(日)に開催)は、参戦車両の競争力向上の改善を図るため、プロトタイプ製の電気自動車を新規に製作し、改造無制限のアンリミテッドクラスに参戦します。



2019年参戦車両  
©SAMURAI SPEED

#### ※1 : ELLEX-M



CNF とパルプ繊維を複合化した CNF 高配合の成形体は、軽量かつ高強度という CNF の特徴を活かしたシート形状の高性能材料であり、性能は汎用プラスチック材料を大きく上回る力学物性を示し、熱特性にも優れています。

#### ※2 : パイクスピークインターナショナルヒルクライム

米国コロラド州のロッキー山脈にあるパイクスピークマウンテン(標高約 4,300mの頂上まで標高差 1,500m、全長約 20 km)を一気に駆け上がるタイムトライアルレースで、世界各国より約 100 チームが参加する、他に類を見ない特殊な環境で開催されるモータースポーツ。初開催は 1916 年、今年で開催 98 回目。競技部門には改造無制限のアンリミテッドクラスの他、市販車をベースに改造した車両が参戦するクラスがあります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】  
大王製紙株式会社 CNF 事業化プロジェクト  
菊池、藤田  
TEL : 03-6856-7530  
E-mail : ellex@daiogroup.com